学校だより

１月号

令和６年１月９日

横浜市立洋光台第三小学校

校　長　　金澤　智美

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/

未来に向けて　想像から創造へ

校長　　金澤　智美

2024年が幕を開けました。本年もよろしくお願いいたします。

元日に起きた能登半島地震では、その後も甚大な被害の様子が報道され、心が痛みます。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

我が家では、今年も箱根駅伝の沿道への応援に出かけました。私たちの目の前を、選手たちは一瞬で駆け抜けていきましたが、母校の襷を掛けて走るその真摯な姿は、心に迫るものがありました。そして、選手に声援を送ることで、自分にも勇気やパワーを分けていただいてきました。

昨年は、本校にとって創立50周年という節目の年であることから、50年の歩みや伝統、そして未来について考える機会をいただきました。そして日々、目に見えない襷を掛けて６年間という道のりを走っているのは、本校の子どもたちです。襷には卒業生と保護者・地域の皆様、職員の思いや願いが託されています。今年は、51周年さらにその先に向けて、新たなスタートを切る年でもあります。自分も、歴代校長から引き継いだ襷をつないでいることの責任の重みとその決意を新たにしました。

今年は辰年。辰（龍）は十二支の中で唯一、想像上の生き物ですが、東洋では権力の象徴とされ、縁起の良い生き物として親しまれていたことから干支に選ばれたようです。

「想像する力」は、新たなものを生み出す「創造力」につながっていきます。また、「想像すること」は「思いやり・感性」の育成にもつながります。

先月の祝賀会で、全校で飛ばした風船が空高く舞い上がった様子を見た後、１年生は友達と、「太陽に届いて燃えたんじゃないか」と、風船の行方を議論していました。5年生の児童は「空の海を泳ぐ魚たちのようだった」と表現しました。子どもたちの柔軟性のある発想は、時に微笑ましく、私たちのモチベーションを高めてくれます。子どもたち同様、私たち職員も、目には見えないことにも想像力や感性を働かせ、一人ひとりの瞳と笑顔が輝く学び舎の創造に向けて、誠心誠意努めてまいります。

お力添えの程、よろしくお願いいたします。

50周年！　あいさつマスター　★　みんな輝き続ける洋三の子